

はじめに

大阪市福祉人材養成連絡協議会は平成18年11月に発足し、その特色は、大阪市という行政、社会福祉事業者、職能団体、大学等の養成機関の四者が相互に協力し合う中で、大阪における福祉人材の質を高めていくことにあります。本協議会は、大都市を中心に介護職が不足し、かつその離職率も高く、今後の超高齢社会が不安となっている時期を迎え、多様な福祉人材を養成し、市民が安心して生活できる地域社会を作ることを目指して組織された団体です。こうした協議体は全国でも珍しく、今後の福祉人材の確保、養成を通じて、安心できる地域ケア体系を構築していくモデルとなることが求められております。

本協議会では、まずは個々の会員団体の人材養成の現状を調査し、それらを調整することで、個々の職員がレベルを高めていけるよう研修の体系化・再構築を目指しております。そのため、大阪で実施される福祉人材の研修に関する情報を大阪市社会福祉研修・情報センターが事務局として収集し、発信していくシステムの構築に着手したところです。

こうしたことから、さらには、福祉人材のキャリアパスが明確になるような研修の体系化を図り、そうした研修履歴が社会的に評価されるシステム作りに向かっていかなければなりません。同時に、所与の福祉人材を養成し、レベルを高めることに留まらず、現在、深刻化している福祉人材の確保にも寄与することが求められております。

以上のような課題の解決に向けて、このたび「福祉人材の確保と養成」を刊行する運びとなりました。本書では、「福祉・介護サービスを取り巻く現状と展望」「課題への取り組み」「福祉人材養成と地域福祉」など、地域でいかに福祉マインドを醸成し、結果として多くの人材を福祉領域に輩出できるかについて問題点の抽出を行いました。さらには、そうした人材が定着していくための課題についても検討を行っております。

本協議会では、本書の刊行を受け、地域福祉を主眼とする福祉人材養成の課題解決に向けて一層活動を活性化していく所存です。つきましては、大阪でのこれらの取り組みに対し、関係機関・団体の皆様のご支援・ご協力を切に願うものです。

最後になりましたが、本書は、大阪市、大阪市社会福祉研修・情報センター、大阪市立大学大学院生活科学研究科の共同研究の一環として作成したものであり、多くの皆様のご協力を得て、ここに刊行できたことを感謝申し上げます。次第です。

大阪市福祉人材養成連絡協議会
会長 白澤政和